

サツマイモ基腐病対策のポイント②

<7~8月の管理作業>



【育苗床】採苗が終わったら、速やかに残さを片付けましょう！



【残さの持ち出し】



【残さをすき込む前に茎葉処理機で残さを細断】



- ・ 病残さは翌年の発生源になるため、速やかにハウス外に持ち出しましょう。
- ・ 持ち出せなかった残さは、すき込む前に細断し、地温の高い夏場に複数回耕うんして分解を促進させましょう。

【ほ場①】定期的にほ場を巡回し異常株を早期に抜き取りましょう！



【株全体の变色・萎れ】



【葉の黄変】



【葉が赤く变色】



【基部の黒変】

- ・ ほ場に発病株を放置しておくと、降雨等で大量の胞子が拡散し、感染が広がります。
- ・ 定期的にほ場を巡回し、変色や萎れが見られる異常株の早期発見、抜き取り、ほ場外への持ち出しに努めましょう。

【ほ場②】基腐病予防のため定期的な予防散布を実施しましょう！

- ・ 発病してからの薬剤散布では、病気の進展を止めることは難しくなります。
- ・ 薬剤防除は、定期的なローテーション散布を実施し、予防防除に努めましょう。
- ・ 特に、土壌処理剤(フントフロアブル25)と植付3~4週目及び5~6週目の2回に分けてフロンサイドSCを散布する体系は予防防除効果が高いです(下表のとおり)。

●農薬の散布例

植付前		植付後		
畝立て前	苗消毒	1回目	2回目	3回目
フントフロアブル25 (全面散布土壌混和)	ベンレート水和剤 (苗全身浸漬)	植付から21日後 フロンサイドSC (300L/10a)	1回目から14日後 フロンサイドSC (300L/10a)	2回目から30日後 トリフミン水和剤 (300L/10a)

【ほ場③】大雨・台風に向けて排水対策に不備がないか確認しましょう！

- ・ ほ場に溜まった水が、ほ場の外に流れるように、額縁明きよと排水路をつなげましょう。
- ・ 排水路に土砂等が詰まっていないか確認をしましょう。
- ・ 大雨や台風の前には、殺菌剤で予防防除しましょう。

ご不明な点がございましたら、お近くの地域サツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム(事務局:地域振興局・支庁農政普及課)にご連絡ください。

※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業(01020C)」「戦略的スマート農業技術等の開発・改良(SA2-102N)」の成果を活用しました。